「チーム担任制」導入の目的について

学校評価や自己評価(教員評価),日常的な教育活動を通して見えてきた本校の課題の解決に向けて,次の教育重点目標を設定しました。

近未来の社会を力強く生き抜く,自立した生徒の育成

～豊かな人生を切り拓くために,正しい生き方を追求する心づくり教育の推進～

(1)何事にも「素直」「真面目」「一生懸命」な姿で,ひたむきに努力する生徒の育成。

(2)将来の理想の姿を思い描き,その実現に向けて具体的に実践できる生徒の育成。

(3)日々の自らの言動を振り返り,生き方を見つめ直すことができる生徒の育成。

(4)正解・不正解のない課題に挑戦し,新たな価値を創造し続ける生徒の育成。

(5)保護者や地域の支えの中で,今の自分があることに感謝の心が持てる生徒の育成。

(6)多様な人々と協働し,持続可能な社会の創り手となれる生徒の育成。

重点目標の中にある「自立した生徒」とは**「高い理念・強い思い・ゆるがない志をもって,自らが定めた目標に向かって努力する生徒」**であり,**「夢に向かって努力を続ける生徒を,心から応援し支えることができる生徒」**です。めざす生徒像を明確にし,その実現に向けて,心づくりの教育活動を丁寧に積み重ねていきたいと考えております。それが生徒一人一人の自己有用感を高め,自分や仲間,そして松茂中学校のことが大好きで誇りに思える生徒の育成につながると思います。

「チーム担任制」の導入は,前述の教育重点目標の実現の過程で必要な仕組みであり,実現のための根幹をなすものであると考えております。

さらには「チーム担任制」の歯車がかみ合い,軌道に乗ることにより,次の6つの成果も期待できると考えています。

①生徒と教職員の自己有用感を高める「魅力ある学校作り」を進めること
②授業の質を高め「生徒の学習意欲の向上」を実現させること
③生徒が自立的に思考・判断し,表現する「思いを語り合える学校作り」を進めること
④生徒一人一人の心のケアを充実させる「命を守る学校体制」を構築すること
⑤保護者との相談の機会と内容を充実させ「安心して学べる環境」を整備すること
⑥学校・保護者・行政・地域・企業との連携による「ゆめ・ミライ塾の充実」を図ること

これまでの固定担任制は,ひとりの担任に多くのことを任せる制度です。それに対してチーム担任制は,「**教員全員がチームを組んで,生徒にとって最適な対応(教育)ができるようにする仕組み**」であると考えます。